

各 位

平成 28 年 9 月 5 日

会社名 株式会社ノザワ  
代表者名 取締役社長 野澤 俊也  
問合せ先 取締役管理本部副本部長  
西岡 誠司  
TEL 078-333-4111

### 熊本城災害復旧への支援金拠出について

平成 28 年 4 月の熊本地震により、国の貴重な重要文化財である熊本城の多くの建造物が崩壊しました。当社は平成 29 年 8 月 17 日に創業 120 周年を迎えるに当たり、この度、熊本城災害復旧支援金として 200 万円を拠出することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

平成 7 年に発生した阪神・淡路大震災により、当社所有の重要文化財「旧神戸居留地十五番館」が全壊しましたが、国・兵庫県・神戸市からの補助を受け再建工事を開始。倒壊前の部材 70%を使用し、又、文化財修理では、今まで見られなかった免震工法を採用し、平成 10 年、再び建設当初の姿に戻りました。

当社のシンボルでもある「旧神戸居留地十五番館」が再建された事により、社員をはじめ多くの方々に勇気と希望を与えることが出来ました。この為、熊本城の一刻も早い復旧が行われる事を願い、又、熊本市民の皆様、熊本城に関わる方々に早く元気を取り戻していただきたく茲に支援金を拠出申し上げる次第です。

被災地の一日も早い復旧・復興を、心よりお祈り申し上げます。

以 上

#### 「旧神戸居留地十五番館」

震災時



再建後



## ○建造物概要

名称:重要文化財 旧神戸居留地十五番館  
所在地:兵庫県神戸市中央区浪花町15番地

## ○構造形式

木骨煉瓦造、建築面積 170.94 平方メートル、  
二階建、棧瓦葺  
附 境界煉瓦塀および石柱  
煉瓦塀長さ 36.39 メートル

## ○指定年月日

平成元年 5 月 19 日 (文部省告示 第 8 0 号)

## ○所有者

株式会社ノザワ  
(代表者 取締役社長 野澤 俊也)

## 「旧神戸居留地十五番館」の歴史

慶応 3 年 12 月	兵庫港開港。居留地開設を決定。	明治 40 年	江商合資会社神戸出張所が併存。
明治元年 7 月	居留地の第 1 回競売で、15 番地は フランス人ガンダベルが落札。	大正 6 年 2 月	居留地の永代借地権抹消 (旧土地台帳) 江商株式会社の所有となる。
明治 3 年 5 月	ガンダーバート商会名で料理店が開業。	昭和 41 年 6 月	株式会社ノザワの所有となる。
明治 4 年 10 月	ホテル・ド・コロニーと改称。	平成元年 5 月	国の重要文化財に指定される。
明治 8 年頃	アスターハウスホテルとスキップウ ワース・ハモンド商会となる。	平成 5 年 3 月	保存修理工事竣工。
明治 11 年 3 月	アスターハウスホテルが焼失。	平成 5 年 4 月	中華料理店が開業。
明治 13 年	現存建物を建築。	平成 7 年 1 月	阪神・淡路大震災により倒壊。
明治 14 年	アメリカ領事館として使用。	平成 10 年 3 月	災害復旧工事竣工。
明治 23 年	H.L. バッカリィ邸。	平成 10 年 4 月	カフェ&レストランが開業。
明治 32 年 7 月	神戸居留地解消。W.J. ロビンソン邸。	平成 24 年 8 月	保存修理工事竣工。
明治 39 年	K.D. サットン商会。	平成 24 年 9 月	レストランが開業。

## 「旧神戸居留地十五番館」震災復旧工事の状況



地震当日(平成 7 年 1 月 17 日撮影)



震災の数日後



材料搬出工事(平成 7 年 2 月)



軸部組立完了(平成 9 年 2 月)



平成 10 年 3 月竣工(南東面)



新旧十五番館  
全景